

附録 3

大学における障害者スポーツの現状に関する
調査 2014 調査票

大学における障害者スポーツの現状に関する調査

平成 26 年 11 月

ご担当者様

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

「大学における障害者スポーツの現状に関する調査」ご協力をお願い

秋冷の候、貴大学にはますますご発展のことと存じます。

さて、このたび当財団では、平成 24 年 11 月に引き続き、大学、特に体育学、スポーツ科学、健康科学等の専門学部を持ち、これまでも健常者のアスリートの育成・強化や、そのための指導者養成、及び研究と研究者養成に実績をあげられてきた大学・学部を対象として、障害者アスリートに関してはそうした教育、研究の環境がどのような状況にあるのかを調査・分析することになりました。

つきましては、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。数値等についてご不明な場合は、学内関係機関にご確認の上、ご回答いただければ幸いです。なお、本調査結果は統計的に処理して、個々の大学のお名前は出ない形で発表いたします。また、調査結果は当財団ホームページで公表するとともに、調査研究報告書を貴学にお送りいたします。

回答につきましては、同封の返信用封筒にて、平成 26 年 12 月 15 日（月）までにご投函いただけますよう、お願い申し上げます。

調査票の発送・回収・データ入力については、当財団の委託先である株式会社サーベイリサーチセンターが担当しております。調査の実施について、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

【調査実施機関・問合せ先】

株式会社サーベイリサーチセンター 〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2-40-10
調査事務局 担当：鈴木 TEL：0120-974-658（月～金曜日、9時～17時）

※本調査における用語について

区分	説明
視覚障害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のものまたは視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難なもの
聴覚障害	両耳の聴覚レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によって通常の話し声を解することが不可能または著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によって歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
精神障害	精神疾患（脳・心の機能的障害によって引き起こされる疾患）を有するもの
病弱	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規則を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規則を必要とする程度のもの

◆ 記入者のプロフィール（差支えない範囲でお知らせください）

所属・役職		氏名	
電話番号		FAX 番号	
E-mail			

0 学部・学域について

問0 本調査にお答えいただくにあたり、該当する学部・学域をお答えください。
複数該当する場合はあてはまるものすべてに○印でお答えください。

1. 体育・スポーツ関連	2. 教育関連	3. 福祉・医療関連
--------------	---------	------------

I 障害者の在籍状況、障害者への支援について

問1 障害のある学生の在籍状況について、障害別にそれぞれお答えください。
(○はそれぞれ1つ)

障害の種類		在籍	在籍なし	把握していない
身体障害	視覚障害	1	2	3
	聴覚障害	1	2	3
	肢体不自由（車椅子使用）	1	2	3
	肢体不自由（義肢使用）	1	2	3
	その他の身体障害	1	2	3
精神障害		1	2	3
病弱		1	2	3
その他（ ）		1	2	3

問2 貴大学において、障害学生支援部署はありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問3 貴大学における障害のある学生への支援についてお伺いします。
また、支援がある場合は、その内容を記入してください。

支援の種類	支援の有無（○は1つ）	その内容を具体的に記入
1. 講義における支援 （演習、実験・実技等を含む）	1. ある → 2. ない
2. 学内の生活環境における支援	1. ある → 2. ない
3. その他の支援	1. ある → 2. ない

Ⅲ 運動施設について

問6 大学の運動施設についてお知らせください。保有する運動施設がある場合、利用形態、バリアフリー度についてそれぞれお答えください。

競技施設	保有施設	利用形態					バリアフリー度 (○は1つ)		
		学 内 (○は1つ)			学 外 (○は1つ)		1. バリアフリーに全面的に対応している	2. 一部対応している	3. 対応していない
	1. 保有する施設に○をつけてください	1. 自由に利用できる	2. 登録制で利用できる	3. 授業や部活動時のみ利用できる	1. 学外団体(者)に開放している	2. 学外団体(者)に開放していない			
1. 陸上競技場	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
2. 球技用グラウンド	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
3. 体育館メインアリーナ	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
4. 種目別体育館	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
5. プール	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
6. 武道場	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
7. アーチェリー場	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
8. テニスコート	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
9. トレーニング施設	1	1	2	3	1	2	1	2	3
		4. その他 ()			3. その他 ()				
10. 運動施設に付帯する更衣室、シャワールーム	1	付帯する上記施設の番号(1~9)を記入 ()					1	2	3
11. 運動施設に付帯するトイレ	1	付帯する上記施設の番号(1~9)を記入 ()					1	2	3

問7 貴大学の学生か否かを問わず、問6の質問でたずねた貴大学の施設について、障害のあるスポーツ選手や団体に貸し出した実績はありますか、お答えください。(○はそれぞれ1つ)
また、回答欄の右側の「競技種目」に関しては下欄の一覧より番号にて実績のある競技種目すべてお選びの上、記入してください。

競技施設	障害者スポーツ 利用状況		過去		現在		競技種目				
	1 あった	2 なかった	1 ある	2 ない							
1. 陸上競技場	1	2	1	2							
2. 球技用グラウンド	1	2	1	2							
3. 体育館メインアリーナ	1	2	1	2							
4. 種目別体育館	1	2	1	2							
5. プール	1	2	1	2							
6. 武道場	1	2	1	2							
7. アーチェリー場	1	2	1	2							
8. テニスコート	1	2	1	2							
9. トレーニング施設	1	2	1	2							

下欄より選択し番号を記入してください

◆障害者スポーツ競技種目

1. 陸上競技	2. 水泳	3. 車いすテニス	4. ボッチャ	5. 卓球
6. 柔道	7. セーリング	8. パワー リフティング	9. 射撃	10. 自転車
11. アーチェリー	12. 馬術	13. ゴールボール	14. 車いす フェンシング	15. 車椅子バス ケットボール
16. 障害者サッカー (視覚/脳性麻痺)	17. ウィルチェアー ラグビー	18. シットイング バレーボール	19. ボート	20. スキー (アルペン/ クロカン / パイアソン)
21. アイススレッジ ホッケー	22. 車いすカーリング	23. その他① ()	24. その他② ()	25. その他③ ()

問8 今後、障害のあるスポーツ選手や団体に貴大学の保有する運動施設を貸し出す意向はありますか。
(○は1つ)

1. 積極的に貸し出す	3. 貸し出す予定はない
2. 要望があれば貸し出す	4. わからない

IV アスリートの競技力向上について

問9 障害の有無を問わず、アスリートの競技力向上を目的とした研究を行う組織（個人研究を含む）が学（部）内にありますか。（○は1つ）

- 1. ある
- 2. ない

（問9で「1」と回答した大学にお伺いします。）

問9-1 その研究組織で、障害のあるスポーツ選手を対象とした研究は行っていますか。（○は1つ）

- 1. 常に行っている
- 2. ときどき行っている
- 3. 行っていない

（問9-1で「1」または「2」と回答した大学にお伺いします。）

問9-2 その研究組織の名称を記入してください。

研究組織の名称 _____

（問9で「2」、問9-1で「3」と回答した大学にお伺いします。）

問9-3 今後、障害のあるスポーツ選手の競技力向上を目的とした研究を進めていく予定がありますか。（○は1つ）

- 1. ある
- 2. ない

問10 障害の有無を問わず、アスリートの競技力向上を目的とした指導者養成を行う組織が学（部）内にありますか。（○は1つ）

- 1. ある
- 2. ない

（問10で「1」と回答した大学にお伺いします。）

問10-1 その養成組織・個人の中で、障害のあるスポーツ選手を対象とした指導者養成を行っていますか。（○は1つ）

- 1. 常に行っている → （問11へお進みください）
- 2. ときどき行っている
- 3. 行っていない

（問10で「2」、問10-1で「2」または「3」と回答した大学にお伺いします。）

問10-2 今後、障害のあるスポーツ選手を指導する指導者養成を行う可能性がありますか。（○は1つ）

- 1. ある
- 2. 条件があれば行う（その条件を具体的に： _____ ）
- 3. ない

問 1 1 貴大学の教職員について、パラリンピック等の国際大会やジャパンパラ競技大会等の国内大会に選手、指導者、役員、支援スタッフ等で派遣した実績がありますか。(○は1つ)

1. ある
 2. ない → (問 1 2 へお進みください)

(問 1 1 で「1」と回答した大学にお伺いします。)

問 1 1 - 1 それほどの大会にどのような役職で派遣しましたか。それぞれお答えください。

該当する大会の番号に ○をつけてください。	役職 (○はいくつでも)
1. パラリンピック	1. 選手 2. 指導者 3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)
2. その他国際大会 (具体的に: _____)	1. 選手 2. 指導者 3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)
3. ジャパンパラ競技大会	1. 選手 2. 指導者 3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)
4. その他国内大会 (具体的に: _____)	1. 選手 2. 指導者 3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)

V 障害者スポーツ選手の競技力向上における大学の役割・意向について

問12 障害のあるスポーツ選手の競技力向上における大学の役割についてお伺いします。以下の16項目における大学の役割の重要度について、それぞれ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	大学の役割 (○は1つ)			
	重要である	やや重要である	重要ではない あまり	まったく重要ではない
1. 大学スポーツ施設の利用	1	2	3	4
2. 大学研究(実験)施設の利用	1	2	3	4
3. 活動に対する人的サポート支援	1	2	3	4
4. 専門の研究者養成	1	2	3	4
5. 専門のコーチ養成	1	2	3	4
6. 障害のあるスポーツ選手(学生として)育成・強化	1	2	3	4
7. 障害者スポーツに関する授業の開設	1	2	3	4
8. 大学連携による支援システム	1	2	3	4
9. 国立または地域のリハビリテーションセンターとの協同	1	2	3	4
10. ナショナルまたは地域のトレーニングセンターとの協同	1	2	3	4
11. 国立または地域のスポーツ科学センターとの協同	1	2	3	4
12. 研究に関する予算的措置	1	2	3	4
13. 教育に関する予算的措置	1	2	3	4
14. 選手育成・強化に関する予算的措置	1	2	3	4
15. 競技大会への教職員の派遣	1	2	3	4
16. その他(具体的に:.....)	1	2	3	4

問13 障害のあるスポーツ選手の競技力向上における貴大学のご意向についてお伺いします。以下の16項目における貴大学のご意向について、それぞれ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	大学の意向 (○は1つ)			
	実施している	実施する 条件が整えば	実施は難しい	実施しない
1. 大学スポーツ施設の利用	1	2	3	4
2. 大学研究(実験)施設の利用	1	2	3	4
3. 活動に対する人的サポート支援	1	2	3	4
4. 専門の研究者養成	1	2	3	4
5. 専門のコーチ養成	1	2	3	4
6. 障害のあるスポーツ選手(学生として)育成・強化	1	2	3	4
7. 障害者スポーツに関する授業の開設	1	2	3	4
8. 大学連携による支援システム	1	2	3	4
9. 国立または地域のリハビリテーションセンターとの協同	1	2	3	4
10. ナショナルまたは地域のトレーニングセンターとの協同	1	2	3	4
11. 国立または地域のスポーツ科学センターとの協同	1	2	3	4
12. 研究に関する予算的措置	1	2	3	4
13. 教育に関する予算的措置	1	2	3	4
14. 選手育成・強化に関する予算的措置	1	2	3	4
15. 競技大会への教職員の派遣	1	2	3	4
16. その他(具体的に:.....)	1	2	3	4

VI 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた大学連携協定について

問14 今年4月に(財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より各大学・短大に締結の要請(依頼)があった「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた大学連携協定」についてお伺いします。貴大学では上記協定を締結しましたか。(〇は1つ)
また、締結していない場合は、その理由をお答えください。

締結の有無	締結していない理由
1. 締結した 2. 締結していない	理由 1. 学内の意向により 2. 締結の要請を知らなかった 3. 締結する予定だったが期限が過ぎてしまった 4. その他(具体的に: _____)

(問14で「1」と回答した大学にお伺いします。)

問14-1 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた大学連携協定における貴大学のご意向についてお伺いします。以下の22項目における貴大学のご意向について、それぞれ〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つ)

		大学の意向 (〇は1つ)			
		実施している	条件が整えば実施する	実施は難しい	実施しない
オリンピック教育の推進	1. 大学におけるオリンピック教育講座の開設	1	2	3	4
	2. 地元小中高等学校におけるオリンピック教育の支援	1	2	3	4
グローバル人材育成	3. 地域の歴史文化・観光スポット等の海外発信	1	2	3	4
	4. 海外の大学との交流	1	2	3	4
	5. 語学教育	1	2	3	4
パラリンピックの理解促進	6. パラリンピック競技体験等の実施	1	2	3	4
	7. 障害者スポーツ大会等における運営等の支援	1	2	3	4
広報活動	8. 学園祭・体育祭等、学内イベントにおける広報活動	1	2	3	4
	9. 地元行事や祭り等における地域の拠点としての広報活動	1	2	3	4
	10. 同窓会・OB会等における広報活動	1	2	3	4
	11. 広告物(ポスター・のぼり旗等)掲出	1	2	3	4
イベントの開催	12. スポーツをテーマにしたシンポジウムの開催	1	2	3	4
	13. オリンピック・パラリンピック競技の紹介	1	2	3	4
	14. オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツ教室	1	2	3	4
	15. 連携大学同士による共同イベントの開催	1	2	3	4
サポート体制	16. オリンピック競技への医科学的サポート	1	2	3	4
	17. パラリンピック競技への医科学的サポート	1	2	3	4
	18. オリンピック競技への指導者派遣	1	2	3	4
	19. パラリンピック競技への指導者派遣	1	2	3	4
	20. オリンピック競技への体育・スポーツ施設の提供	1	2	3	4
	21. パラリンピック競技への体育・スポーツ施設の提供	1	2	3	4
22. その他(具体的に: _____)		1	2	3	4

問15 大学の障害者スポーツにおける現状について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。